

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談

2. 日時：令和3年8月26日(木)14時00分～14時50分

3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、有吉上席安全審査官、伊藤安全審査官

小舞管理官補佐、加藤原子力規制専門員

敦賀原子力規制事務所

山中原子力運転検査官

文部科学省

原子力課 核燃料サイクル室

横井核燃料サイクル推進調整官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 本部長 他6名

高速増殖原型炉もんじゅ 廃止措置計画課長

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、配付資料に基づきもんじゅの廃止措置第2段階以降の廃止措置計画策定の進め方に係る検討状況について説明を受けた。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

- ・しゃへい体取出し時における原子炉容器内ナトリウムの SsL 液位での運用について、液位を下げることによる安全上のメリット及びデメリットを整理して説明すること。
- ・炉心から取り出した中性子源集合体を燃料池で貯蔵することについて、現状の許認可の取扱いを整理して説明すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：「もんじゅ」廃止措置第2段階に向けた検討 シャへい体等の取出しと放射性ナトリウムのドレン・固化